

フォレストニュース

植林が地球を救う

令和3年(2021)11月10日

No. 167

発行 高津啓洋

雨季が始まるレダ

南米パラグアイのレダに雨季が来ます。10月から2月までは、スコールのような激しい雨と風がしばし吹き荒れます。当然、蚊が大量に発生し、人も動物もちょっと憂鬱な季節を迎えます。

しかし、一斉に草花は芽を出したけを伸ばすのです。花も咲きまですし、実もなります。

レダにも、この季節動物たちの活発な活動が始まります。レダには、カピバラをはじめ、アメリカ



ハトバの成木です

ライオンや、ティグレ、アルマジロ、オオアリクイ、大きなアナコンダという蛇もいて、鳥も沢山巣作りをしています。多くの動物に出会う事が出来る、まさに柵のない自然動物園と言ったところでしょうか。

ただ動物の種類によっては、不用意に近づくと、日本に帰れなくなってしまうこともあります。

これらの動物も皆様



ハトバの花です



オオアリクイ



アルマジロです



チバトが咲き始めました



ゴールデンシャワーが咲き始めました



年間を通して咲くブーゲンビリア

方からの植樹活動に支えられて豊かな自然が取り戻されてきたからこそです。ありがとうございます。

11月20日セミナー開催へ

新型コロナのために延期したセミナーが11月20日となりました。

日時：11月20日(土)

1部 10:00受付、10:15開始。

2部 12:30受付、12:45開始、16:00終了。

国立オリンピック記念青少年総合センター：センター棟

参加希望の方はFaxやメールに

てご連絡ください。

講師を務める、高津啓洋理事長から、「コロナウイルスで、今は大変に移動が困難な状況ですが、11月には皆様とお会いできることを楽しみにしています。四国から元気に上京します」とのことです。